



ほっころ

甲府市立北新小学校

2015. 7. 17

No. 4

発行：校長室

一歩前進



各学年の懇談会の資料を見ますと、1年生：「学習のきまり（授業と休み時間の区別、話し方・聞き方など）が分かってきました。」、2年生：「明るく健康的な雰囲気の中で、協力し合いながら毎日学校生活を送っています。」、3年生：「当初は次々に出てくる新出漢字の多さに戸惑っている感じが感じられましたが、次第に自分なりの学習方法を考え、工夫して練習しようとする姿勢が見られるようになりました。」、4年生：「運動会や連合音楽会の取り組みを通して、努力しようとする気持ち、自己表現しようとする気持ち、挑戦する気持ち、みんなで協力する気持ちをもつことができました。」、5年生：「高学年としての意識が少しずつ出てきています。運動会の係活動では、自分ことや演技だけでなく、全体を運営する立場としても活動できました。初めての委員会活動の取り組みでも、わくわくタイムや昼休みなどの活動を意欲的に取り組んでいます。」、6年生：「委員会活動・児童会活動・1年生のお世話・運動会への取り組みから、下級生へのいたわりの気持ちが育ち、高学年としての意識が高まってきました。」と、書かれていました。あつという間の68日間でしたが、186名の児童全員が、確かな歩みを続けています。これも保護者の皆様、地域の皆様のご協力のおかげと心から感謝申し上げます。ありがとうございます。

明日から夏休みに入ります。昨年度も書きましたが、この夏休みは、「AKBになろう！」を目標に過ごして欲しいと思います。Aはあいさつ、Kは感謝、Bは勉強です。家族や地域の方々にあいさつをしましょう。いろいろなことにたいして感謝の気持ちを持ち、ありがとうの言葉をいっぱい言いましょう。課題や自由研究などの勉強をしっかりとやりましょう。8月28日の始業式の日、AKBになって、ひとまわり大きくなった姿で登校するのを楽しみにしています。

キッズISO

6月24日（水）に、5年生の子どもたちが甲府市の環境部の方々から、地球の温暖化の現状やそ



の原因、地球環境にやさしい取り組みについて学びました。電気・水道・ガス・ごみの排出量を調べながら、環境にやさしい生活者へと変身していきます。今をとるのか、未来をとるのか、大人が変わらなければ、よりよい地球環境を維持していくことはできません。省エネを意識しながら生活をしていきたいものです。

人権の花贈呈式



6月29日（月）、山梨県人権啓発活動ネットワーク協議会の方々がお見えになり、人権の花の贈呈式が行われました。花を育てながら、いたわり、思いやり、やさしさなど、相手への心遣いを学びます。メッセージをつけた風船をみんなで飛ばしました。「仲良く、大切に育てて」など、人権に関するメッセージが書かれた、人権啓発の風船です。人権「人間が人間らしく生きるために持っている権利」が守られる世の中であって欲しいです。



年長さんを招いての児童集会



7月3日（金）に、北新保育所、屋形幼稚園の年長さんを招いて、児童集会が行われました。

「じゃんけん列車」「もうじゅうがり」「うんだめしゲーム」の3つのゲームを行いました。

6年生や5年生の子どもたちが、年長さんを引き連れて、ゲームを行っていました。あったかな空気がたどよい、ほくしん家族が誕生したような感じになりました。たくさんの人たちと仲良くふれ合うことができ、素晴らしい児童集会でした。児童会執行部のみなさん、計画・準備等ご苦勞様でした。



沖縄戦の全戦没者を悼む「慰霊の日」追悼式で、沖縄県与那国町立久部良小1年生安里有生くんが読み上げた詩です。戦後70年になります。親子で平和について考えていただきたいです。

へいわってなにかな。
 ぼくは、かんがえたよ。
 おともだちとなかよし。
 かぞくが、げんき。
 えがおであそぶ。
 ねこがわらう。
 おなかがいっぱい。
 やぎののんびりあるしてる。
 けんかしてもすぐなかなおり。
 ちょうめいそうがたくさんはえ、
 よなぐにうまが、ヒヒーンとなく。
 みななどには、
 フェリーがとまっていて、
 うみには、かめやかじきがおよいでる。
 やさしいところがにじになる。
 へいわっていいね。
 へいわってうれしいね。
 みんなのころから、
 へいわがうまれるんだね。

せんそうは、おそろしい。
 「ドドーン、ドカーン」
 ばくだんがおちてくるこわいおと。
 おなかがすいて、くるしむこども。
 かぞくがしんでしまって
 なくひとたち。
 ああ、ぼくは、
 へいわなときに
 うまれてよかったよ。
 このへいわが、
 ずっとつづいてほしい。
 みんなのえがおが、
 ずっとつづいてほしい。

へいわながっこう、
 へいわなよなぐにじま、
 へいわなおきなわ、
 へいわなせかい、
 へいわってすてきだね。
 これからも、
 ずっとへいわが
 つづくようにぼくも、
 ぼくのできることから
 がんばるよ。

地区教育懇談会より

7月13日（月）に、PTA校外指導部、地域連携部が計画された地区教育懇談会が開催されました。今年、「子どものころとからの危機」をテーマに、



山梨大学教育人間科学部学部長 中村和彦先生に講演をしていただきました。「子どもの遊び・運動は、食習慣、睡眠習慣、排泄習慣とともに、重要な生活習慣の一つである」「子どもの遊び・運動は、心身の発達段階に見合った内容でなければならない」「単一スポーツだけでなく、複数のスポーツを経験して欲しい」「道路を遊び場に開放して欲しい（スクールゾーンをプレイゾーンに）」「人との関わりはと、若者に問うと、こねと答える。人を想うころと答えて欲しい」等話をされました。子どもの遊び・運動に目を向けて、健やかな子どもを育てていきましょう。

からだ元気になる10カ条

- 第1条 昼間に1度は、外で遊ぼう
- 第2条 親子でからだを動かそう
- 第3条 休みの日には、外で一緒に遊ぼう
- 第4条 朝ごはんを食べよう
- 第5条 楽しい食卓を演出しよう
- 第6条 加工食品は、ひかえめに
- 第7条 テレビをみる時間を決めよう
- 第8条 メディア類は、ルールを決めて使おう
- 第9条 夜型生活から抜けだそう
- 第10条 1日1回、家族との対話を

中村和彦先生の書かれた「子どものからだ危険」の本の中にある、提言です。ぜひ、この夏休みに実践していただきたいです。

